

授業科目 基礎看護技術演習 II

【担当教員名】 佐藤 信枝 他		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 対象者の治療過程を支援する看護師の役割を理解し、診療に伴う基本的な看護技術を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 行動目標：SBO 1. 治療過程を支援における看護師の役割を説明できる。 2. 感染予防における看護技術の原則を説明できる。 3. 創傷管理の基本的知識と看護技術の選択方法を説明できる。 4. 検査における看護技術の原則を説明できる。 5. 採血を実施できる。 6. 薬物療法に伴う看護技術の原則を説明できる。 7. 点滴静脈内注射を実施できる。 8. 筋肉内注射を実施できる。 9. 呼吸管理の基本的知識と看護技術の適用を説明できる。 10. 酸素療法と気道内吸引を実施できる。 11. 排尿障害の基本的知識と看護技術の原則を説明できる。 12. 導尿を実施できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	科目ガイダンス			1	講義
2	感染予防の看護技術			2	
3	無菌操作、創傷処置			3	演習（基礎看護学全教員）
4	検査に伴う看護技術			4	講義
4-5	静脈採血の看護技術			5	演習（基礎看護学全教員）
6	薬物療法の看護技術			6	講義
7	点滴静脈内注射の看護技術			7	演習（基礎看護学全教員）
8-9	筋肉内注射の看護技術			8	演習（基礎看護学全教員）
10-11	呼吸管理の看護技術			9	講義
12	酸素療法と気道内吸引の看護技術			10	演習（基礎看護学全教員）
13	排尿障害の看護技術			11	講義
14-15	導尿の看護技術			12	演習（基礎看護学全教員）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		系統看護学講座専門分野 I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 II	基 藤崎郁編集	医学書院	2011・2,900円＋税
参考書		新体系看護学全書基礎看護学3基礎看護技術 II	深井喜代子監修	メヂカルフレンド	2012・3,400円＋税
		実践へのフィードバックで活かす ケア技術の	深井喜代子監修	へるす出版	2006・4,200円＋税
		エビデンス			
		決定版ビジュアル臨床看護技術	坂本すが監修	照林社	2011・3,900円＋税
その他の資料		配布資料			
【評価方法】 出席状況：10% 演習内容に基づいた課題：10% 学科試験：80%			【履修上の留意点】 ・「人体の構造と機能」の復習を行ってから参加のこと。 ・演習に際しては、ユニフォームを着用し、隣地実習に準じた態度で臨むこと。		